



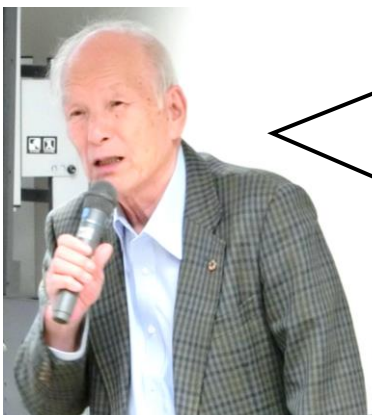
**(仮称)**  
**地域脱炭素を実現するための勉強会**  
**第8回ふりかえり【最終回】**



3月30日に第8回勉強会を行いました。43名の方にご参加いただき、「江戸川区で始める電気の地産地消」というテーマでグループワークを行いました。

**これまでの勉強会を振り返って**

令和6年度から始まり、「地域エネルギー会社の設立」や「東京都ゼロエミッション創出プロジェクト」への選定など成果をあげました。これまで常に私たちを牽引してくださった各町会の皆様より今後の取り組みへの期待や感想などコメントをいただきました。



松江地区連合町会 関口会長

今日で第8回、地域脱炭素＝地球温暖化防止のため始まった。松江第一中学校は千葉県匝瑳（そうさ）市から電気を購入しているが、区でも電気をつくることができないか、と有識者を交えて勉強会で話し合ってきた。地域の皆様が「地域にエネルギー会社が必要」と熱心に取り組んでいただいたからこそ設立につながった。江戸川電力は、これからさらに力をつけて頑張ってもらいたい。そして、地域脱炭素を進めるためには、地域の皆様のお力添えがないとできない。町会・自治会は、地域の方々と江戸川区のため、また、行政の方々も区民のため、みんなで一所懸命に頑張っていきたい。



船堀地区自治連絡協議会 鳥矢会長

今まで勉強会では議論のみだったが、これからは実質的に動く、江戸川電力の皆様は、今後の活動によってどれだけ脱炭素が進んだかあるいは地域住民にどれだけ貢献したか、今後もこの会で報告して欲しい。今後形が変わって来年度からも脱炭素の取り組みを進める。これからもぜひ協力をお願いしたい。

江戸川電力では、補助金や助成金がなくても経営が成り立つ会社がつくられていけばいい。そのために地域の皆様のお力をいただいて、地域脱炭素を盛り上げて行ければいいと思う。

自分の工場でも太陽光パネルをつけたいと思っているが、どうやって進めればいいのか悩んでいる。地域の回覧板などで案内が来ることもあるのでいずれ応募したい。

勉強会はいい取り組みなので、町会役員会にて勉強会の内容を報告している。江戸川電力は株式会社なので利益を追求する必要はあるが、地域貢献することで地域もWIN-WINの関係構築。今後も周知に協力しながら力になっていきたい。



葛西地区自治会連合会 千倉会長



東小松川南町会 神原会長



船堀四丁目町会 笹本会長

令和8年4月発行

**グループワーク（江戸川区で始める電気の地産地消）**

「区内で発電し、その電気を区内で消費することで私たちの暮らしはどのように変わっていくか？」をテーマに話し合い、有識者の方々に回答してもらいました。

グループワークの様子



回答者の方々



江戸川区 岡部環境部長



江戸川電力 古本営業部長



NPO法人 足元から地球温暖化を考える  
市民ネットえどがわ 山崎事務局長



リノベーションコーディネーター協会  
瀧澤理事長

**1-1. グループワークで出た主な質問と回答**

**Q1: 東京電力よりも安い単価で電力を使用できるのか?**

**A:** 系統電力の電気代は変動が生じるが、燃料費調整額が下がった場合であってもよりも安価な電力を提供できると見込みである。

**Q2: 高齢者でも江戸川電力のPPAサービスに応募できるか?**

**A:** 可能な限り対応できるように検討する。現地確認のうえ総合的に判断するため、まずは応募いただきたい。

**Q3: いつからサービスが提供されるのか。**

**A:** 説明会は4月以降に開始していく。実際の注文については東京都のクールネットの事業者登録が完了する夏前頃から受け付ける形となる見込みである。

**Q4: 面的な取り組みとして事業者をどのように巻き込んでいくのか**

**A:** 区内に点在する工場にも将来的に発電設備を設置していきたい。環境省のバリューチェーン全体の脱炭素経営高度化事業の動向も踏まえ、中小企業を巻き込みながら事業者へ貢献できると良い。

Q5:江戸川区のエネルギー施策の一環として区民参加型の施策を盛り込むのはどうか。

A:江戸川区では地域エネルギー会社である江戸川電力が設立され、東京都のゼロエミ地区事業にも採択された。ゼロエミ地区の対象エリアでの取り組みを江戸川区全域に波及させる必要がある。今年度は新たな取り組みであるフォーラムやワークショップ等のイベントを通じて区民参加を促しながら区内全体で脱炭素の取り組みを進めていきたいと考えている。

Q6:行動変容を伴うピークシフトの事例などはあるか。

A:太陽光発電は昼間に発電するため、昼間にどう電気を使うのか、余った電気をどう有効活用するのが重要となる。

Q7:太陽光発電設備の設置対象となる住宅はどのようなものか。住宅以外に工場や学校にも設置は可能か。

A:屋根面積や周辺の遮蔽物による影の影響を現地確認の上可能な範囲で対応できるよう検討する。戸建住宅からサービス提供を開始する予定であるが、工場も学校も設置可能である。

Q8:集合住宅に対する脱炭素化の具体的な手段はあるか。

A:江戸川電力の中心事業である住宅用PPAの一番のメリットは電気代が下がることである。江戸川電力は地域に寄り添った江戸川区の電力会社であるため、発電設備を設置できなければサービス提供しないということは無くしたい。区内の余剰電力をかき集めることで、松江一中で匝瑳(そうさ)市産の電力を使用しているようにオフサイトPPA等を活用して安価な電力を供給することも考えられる。引き続き検討していく。

Q9:契約途中で住居の建て替え等が発生した場合の中途解約はどうなるのか。

A:基本的には補助事業を活用する形となるため途中解約が発生すると補助金の返還義務が発生することとなる。そのような条件については説明資料や契約書にも明記する予定である。建て替えの場合は一時的な撤去に留めて設備を再利用する等顧客の視点に立った対応を想定する。

Q10:自己資金で発電設備を設置したい区民も支援して欲しい。

A:PPAに拘らず市況等を確認しながら顧客にとって最もメリットが出る選択肢を提供していきたい。

## 1-2. 意見交換で出た意見

- ・分かりやすく、早く、シンプルに進めて欲しい。
- ・愛される江戸川電力になってほしい。

## サンプル展示会を同時開催

区民・事業者の皆様が脱炭素の取り組みを具体的にイメージできるよう断熱建材や太陽光パネルのサンプル展示を実施しました。事業者の方から直接説明を聞くことができ、非常に好評でした。



○ご案内 令和8年度  
 「脱炭素で暮らしを豊かに」実践編が始動!

(仮称)地域脱を実現するための勉強会  
 詳細は、随時ホームページをご覧ください→



○問い合わせ

江戸川区環境部気候変動適応計画課  
 TEL 03-5662-0694 (勉強会・気象防災セミナー)  
 TEL 03-5662-6745 (地域エネルギー事業)